

■取組方針フォローアップ【小丸川・一ツ瀬川流域】

1. 災害に強い人づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

H29 : 151 / 188 → H30 : 165 / 188

(2) 主な取組内容 H30

- ①川を通じたコミュニティづくりの推進
→6市町村において漁協等と連携した稚魚放流が行われている。
- ②防災学習の推進
→教育委員会と連携を取り、積極的に小中学校で防災学習が実施されている。
→宮崎市では、市民参加による危険箇所防災パトロールを実施した。
- ③自主防災組織の結成と積極的活動
→広報誌等を利用した啓発活動や消防団員の募集を行っている。
→災害発生に備え、資機材の備蓄確認、補充を行っている。
→川南町では、地域ごとに防災倉庫の設置を行っている。
- ④防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成
→各機関において防災士ネットワークと連携した防災啓発活動や資格取得促進が行われている。
- ⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成
→土砂災害ハザードマップの住民配布が行われている。
→県において、一ツ瀬川、三財川について想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域を公表した。
→L2浸水想定公表を受けて各機関において洪水ハザードマップの改訂が進められている。

(3) 評価

全機関で、積極的に取り組みが進められているが、今後は最大規模の洪水等に対応したハザードマップ作成を推進していただく必要がある。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
①川を通じたコミュニティづくりの推進	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②防災学習の推進	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③自主防災組織の結成と積極的活動	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成(※)	継続実施 【目標時期】 ・浸水想定区域図の作成・周知:平成31年度 ・洪水ハザードマップの作成・公表:平成32年度 ・土砂災害ハザードマップの作成・公表:平成33年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続

①について
・漁協連携(稚魚放流)＜西都市、西米良村、新富町、木城町、川南町、都農町＞・水辺のモニター＜宮崎県＞・出前講座＜宮崎市＞

②について
・広報誌を活用した啓発活動＜西都市、西米良村、高鍋町、木城町、川南町、都農町＞・市民参加の合同パトロール＜宮崎市＞、出前講座＜宮崎市、新富町、高鍋町、宮崎県＞・津波避難訓練の実施＜新富町、都農町、宮崎県＞・地域防災コーディネータの配置＜宮崎市＞・防災士育成の費用補助＜宮崎市、西都市、新富町、高鍋町、木城町、都農町＞・学校での防災教室等の開催＜宮崎市、西都市、西米良村、木城町、川南町、都農町、宮崎県＞

③について
・避難訓練の実施＜全市町村、宮崎県＞・資機材整備の補助＜宮崎県＞・広報誌、チラシ等を活用した消防団員の募集＜宮崎市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町、都農町＞・資機材の備蓄確認及び補充＜全市町村、宮崎県＞・地区ごとに防災倉庫を設置＜川南町＞

④について
・防災士育成の費用補助＜宮崎市、西都市、新富町、高鍋町、木城町、都農町＞・防災士ネットワークとの連携＜宮崎市、西都市、西米良村、高鍋町、木城町、川南町、都農町＞・防災士研修講師の派遣＜宮崎県＞

⑤について
・土砂災害ハザードマップの配布＜宮崎市、西都市、新富町、高鍋町、木城町、川南町、都農町＞・ハザードマップを活用した避難訓練の実施＜宮崎市、木城町、川南町＞・ハザードマップを活用した住民啓発活動＜西都市、西米良村、新富町、高鍋町＞・一ツ瀬川・三財川について想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域を公表＜宮崎県＞・L2浸水想定公表を受けて洪水ハザードマップの改訂を推進＜宮崎市＞

2. 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

H29 : 123 / 141 ⇨ H30 : 137 / 141

(2) 主な取組内容 H30

- ① 要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進
 → 要配慮者名簿の整備を進めている。
 → 各機関で要配慮者を考慮した避難場所が確保されている。
 → 宮崎市では、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成にかかる支援を実施した。
 - ② 避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用
 → 当協議会で作成したタイムライン、ホットラインを活用した。
 - ③ 迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化
 → 広報誌等を活用し、防災情報入手方法を周知している。
 → 防災ラジオや防災無線により情報伝達を行っている。
 → 高鍋町ではSOSネットワークの加入促進を進めている。
 → 県において危機管理型水位計の設置を進めている。
 - ④ 学習会等による災害情報の共有
 → 出前講座等の中で、災害の記憶を風化させないための啓発活動を行っている。
 → ツ瀬川にかかる想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域図を公表した。
 → ツ瀬川水系の関係市町村では、想定最大洪水ハザードマップの作成について検討を行っている。
- (3) 評価
 全機関で情報伝達のための環境づくりが進められている。

主な取組項目	目標時期	宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
① 要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進	平成29年度から検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 学習会等による災害情報の共有(※)	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(※) 最大規模洪水を対象とする。 ○: 取組継続

①について
 ・自主防災組織を含む防災訓練の実施、福祉避難所の指定<宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町、都農町>・避難確保計画の支援<宮崎市、新富町、川南町、都農町>・要配慮者施設に関する関係部局との調整会議の開催<宮崎県>

②について
 タイムライン及びホットラインの活用<全市町村、宮崎県>

③について
 ・広報誌等での周知<西都市、西米良村、新富町、高鍋町>・SOSネットワーク加入促進<高鍋町>・テレビ、ラジオ等の活用<宮崎市、西都市、木城町、川南町、宮崎県>・危機管理型水位計の設置<宮崎県>

④について
 ・想定最大洪水ハザードマップの作成検討<宮崎市、西都市、高鍋町>・出前講座<全市町村、宮崎県>

3. 災害に強いまちづくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

H29 : 41 / 63 ⇨ H30 : 43 / 63

(2) 主な取組内容 H30

① 都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導
→土砂災害警戒区域の指定を進めている。

② 安全な避難路・復旧路の整備
→宮崎県では、県内の主要路線を緊急輸送道路に指定している。

→各機関において優先復旧用道路の検討が進められている。

③ 安全な避難場所の確保
→高鍋町では、指定避難場所や津波避難ビルを点検し、継続指定を確認した。更に新たな避難場所を検討している。
→宮崎市、西都市では想定しうる最大規模の降雨による浸水想定に対応した避難場所の見直し等を検討している。

④ 高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進
→宮崎市では、要配慮者利用施設からの相談に応じ、避難訓練を実施するとともに避難場所の情報提供など支援を実施した。

→宮崎市、西都市、木城町において、自衛水防組織設置の促進や避難確保計画作成の支援がされている。

⑤ 河川管理施設の効率的な運用の確保
→各機関で、施設点検の実施及び体制確認した。

(3) 評価

全機関で避難場所の指定や避難確保計画策定にかかる支援など災害に強いまちづくりの推進が図られている。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間										
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象	
①都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導(※)	平成29年度から検討実施	○	○		○	○				○	/	/
②安全な避難路・復旧路の整備(※)	平成29年度から検討実施	○	○		○		○			○	○	/
③安全な避難場所の確保(※)	平成30年度から検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
④高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進	継続実施	○	○			○				○	○	/
⑤河川管理施設の効率的な運用の確保	継続実施	○	○	○	○	○	○			○	○	/

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続

①について
・土砂災害警戒区域の指定<木城町>

②について
・県内の主要路線を緊急輸送道路に指定<宮崎県>・優先復旧用道路の検討<宮崎市、西都市、西米良村、川南町>

③について
・広域避難態勢を構築した<宮崎市>・民間福祉施設を避難所として指定避難場所、津波避難ビルを点検し継続指定を確認、新たな避難場所の検討<高鍋町>

④について
・要配慮者利用施設からの相談に応じ、避難訓練を実施するとともに避難場所の情報提供など支援を実施<宮崎市>・一ツ瀬川水系においてL2浸水想定区域図の見直し、公表を実施<宮崎県>・避難確保計画の作成にかかる指導、支援<西都市>

⑤について
・施設点検の実施及び体制確認<全市町村、宮崎県>

4. 災害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

H29 : 22 / 32 ⇨ H30 : 23 / 32

(2) 主な取組内容 H30

- ① 浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備
→ 宮崎市では、外水氾濫に備え、アクセス道路の確認を実施した。
- ② 大規模災害時における公共施設、災害拠点病院、ライフライン等の機能維持対策
→ 想定しうる最大規模の降雨による浸水想定図の公表を受け各機関においてライフライン機能維持対策を検討している。
- (3) 評価
各機関で施設機能維持の確保対策を進める必要がある。

5. 被害を最小にするハード整備

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数

H29 : 8 / 10 ⇨ H30 : 10 / 10

(2) 主な取組内容 H30

- ① 洪水を安全に流すためのハード対策
→ 宮崎県では、河川改修事業、土地利用一体型水防事業等を実施している。
- ② 土砂災害から住民を守るためのハード対策
→ 急傾斜事業等を計画、実施している。
- (3) 評価
各機関において引き続き必要なハード整備を進める必要がある。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
① 浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備(※)	平成32年度	○	○	/	○	/	/	/		○	/
② 大規模災害時における公共施設、災害拠点病院、ライフライン等の機能維持対策(※)	継続実施 平成32年度	○	○		○	○	○	○	○	○	/

※最大規模洪水を対象とする。 ○: 取組継続

①について
・外水氾濫に備え、アクセス道路の確認を実施<宮崎市>・一ツ瀬川水系においてL2浸水想定区域図の見直し、公表を実施。<宮崎県>

②について
・L2浸水想定区域図の見直しを受け、見直しを検討する。<宮崎市、西都市、西米良村、新富町>・病院、道の駅につながる水道管の耐震化を実施<都農町>

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
① 洪水を安全に流すためのハード対策	継続実施	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/
② 土砂災害から住民を守るためのハード対策	継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

○: 取組継続

①について
・河川改修事業、土地利用一体型水防事業等を実施<宮崎県>

②について
・河川改修事業、土地利用一体型水防事業等を実施<宮崎県>・急傾斜事業等を実施<宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町>・防災拠点となる新庁舎の建設を推進<西都市>